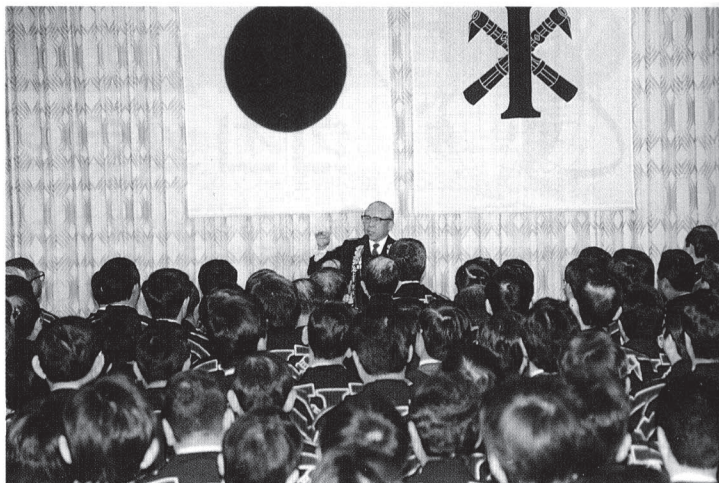


# 全国で 新年式典を 開催 ■社長室

1月4日、平成3年新年式典が全国で開催されました。本社では、後藤社長が新経営戦略・経営理念について、次のような年頭の所感を述べました。

今年は保険審議会から今後の方向を決める重要な答申が出される予定で、このむずかしい時期7月に2回目の損保協会会長会社になり、リーダーシップの発揮が求められるとして覚悟のほどを表明されました。

また当社のめざす企業像は「世界の安田火災」「総合金融機関の安田火災」「力と徳を兼備する安田火災」、それに昨年10月に打ち出された「ゆと



りと豊かさのある安田火災」で、この4つの企業像は源四流の係にあり、同時に実現させる必要がある。そのためにもお客様第一を実践する社員を育成する「人づくり」、お客様を増やし、業容を拡大するためのSISを全社員でつくりあげる「システムづくり」「パートナー代理店づくり」により実現させる。

つづいて時短について、'92年度末に総労働時間2,000時間達成に向けて、戦略として真剣に取り組む。また総合金融機関戦略として四輪駆動体制確立のため、まず「運用・システム」を強化し効果があがってきたので、'91年度は残りの二輪「営業・SC」に戦力を重点投入し、バランスよい稼働を期待する旨訓示されました。

## 「ゆとりと豊かさ」キックオフ大会 ■社長室



12月14日、本社大会議室で「ゆとりと豊かさ」キックオフ大会が開催されました。大会には後藤社長以下全役員、全地区本部長、本館の全部

室長及び各部室の管理職・総合職・一般職の代表約400人が出席しました。

大会冒頭の社長訓示に引き続き、杉崎「ゆとりと豊かさ」推進本部長による、今後の具体的取り組み方針とスケジュールなどに関する説示がありました。

最後に、東京大学名誉教授で通産省産業構造審議会の「ゆとりと豊かさ政策小委員会」委員長である木村尚三郎氏の記念講演が行われました。

社長訓示のなかにある「ゆとりと豊かさ」の実現は経営戦略であり、必ず成し遂げねばならない、という強い決意と木村教授の「ゆとりと豊かさの実現は時代の流れである」とのお話を聞き、参加者一同「ゆとりと豊かさ」実現の経営戦略的意義と必要性を再確認し散会しました。

なお、当日の講演内容はビデオテープと小冊子を作成し、全部店に配布しました。

## 全国で社会福祉助成金を贈呈

安田火災記念財団では、全国56の障害者関係の福祉団体に、総額4千万円の助成を行うことを決定、11月20日本社ビルにおいて、東京都内7団体への助成金贈呈式を行いました。また、28道府県では、各支店が手続きを代行して、それぞれ贈呈式を行いました。



### ■安田火災記念財団

この助成金は、障害者の在宅福祉向上を目的とした事業に充当されるもので、点字百年の昨年は、点訳ボランティア団体に対する点字プリンターの購入助成が増加しました。

今回で14回目を数える助成金累計額は3億9千万円にのぼります。